

東京湾海況情報 22-12

東京湾水質調査結果（平成23年3月分）

平成23年3月15日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査（内湾：わかふさ3/8、内房：ふさみ丸3/4）

千葉県漁業協同組合連合会、新富津漁業協同組合、千葉県環境研究センター、東京都環境局
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

表層水温は、内湾9～11℃、内房11～16℃と内湾から内房北部にかけては、平年よりやや低め、湾口部ではやや高めでした。表層塩分は、内湾で30～31と平年よりやや低め、内房で32～34とほぼ平年並みでした。水温と塩分の分布からは、千葉県寄りに沖合水の波及が伺えました。

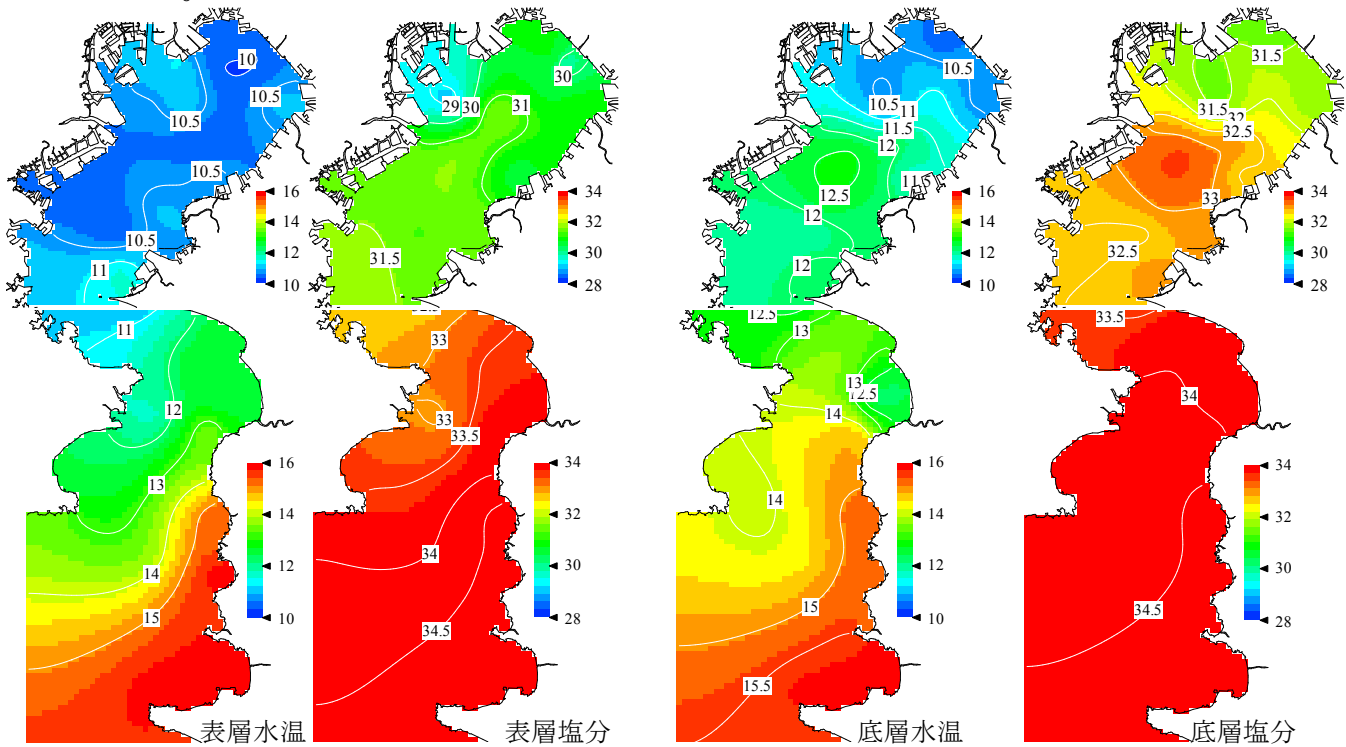


図1 水温と塩分の水平分布

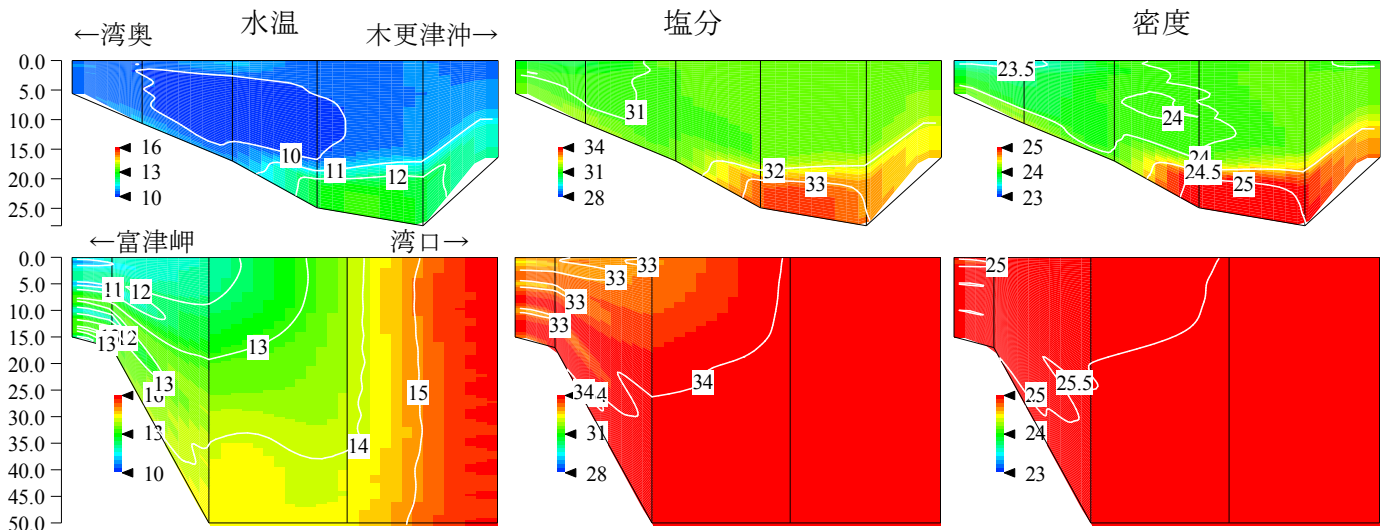


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

赤潮は、ほぼ全域で見られませんでした。
 優占種は、ノリの色落ち被害をもたらす珪藻のユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)で、湾奥ではやや多い状態です。現状の栄養塩は、ノリ養殖に問題のない水準ですが、今後もユーカンピアの動向には注意が必要です。

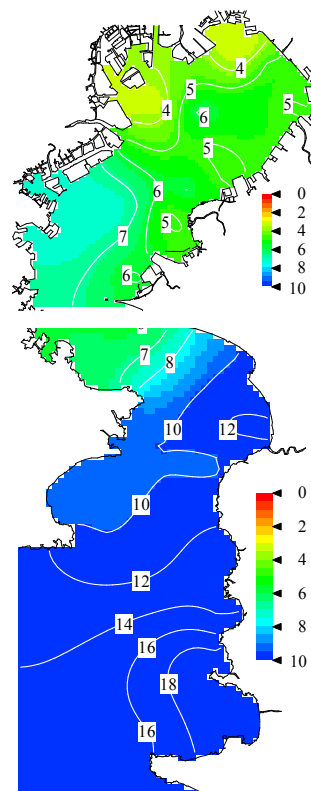


図3 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、全域で観測されませんでした。

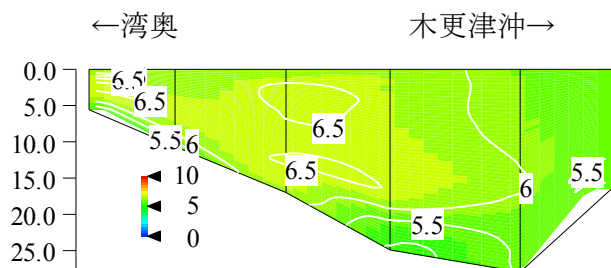
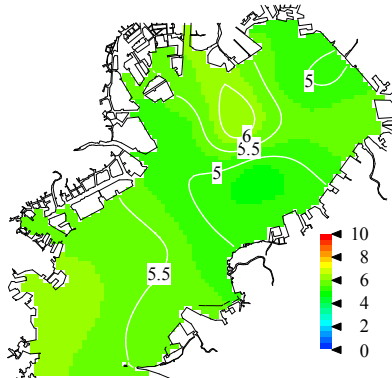


図4 内湾のDO(ml/L)

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています)

栄養塩類の状況(図5、表1)

表層の栄養塩類は、全域で回復が見られ、内湾より低めの内房でもノリ漁場周辺は、DINで100 $\mu\text{g/L}$ 以上、PO4-Pで10 $\mu\text{g/L}$ 以上とノリ養殖に支障のない水準でした。

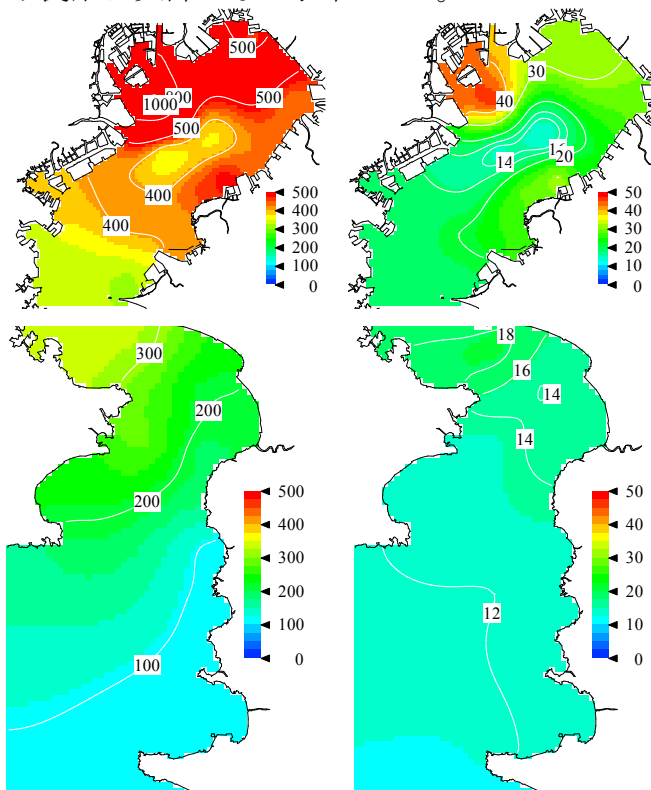


図5 表層の栄養塩類
 (左:DIN, 右:PO4-P 単位はいずれも $\mu\text{g/L}$)

黒潮の状況(図6)

黒潮はB型流路をとり、八丈島付近で北上し、三宅島付近で向きを変え房総半島沖を北東方向に流れています。相模湾から東京湾にかけて、黒潮から暖水が波及しています。

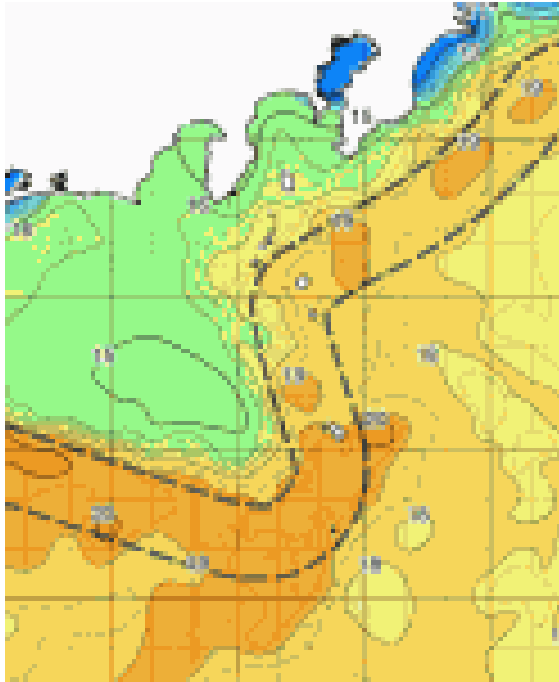
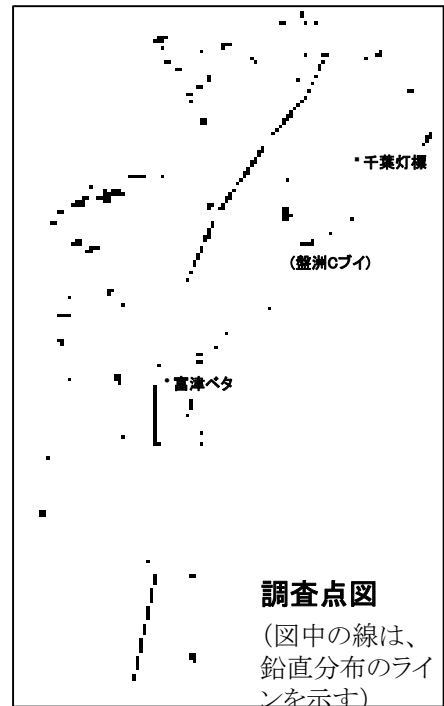


図6 黒潮の動き(3月8日)



調査点図

(図中の線は、鉛直分布のラインを示す)

表1 主な調査点の水質調査結果(調査点は、右図参照)
(調査日：平成23年3月4,8日)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	リン酸 態リン ($\mu\text{g/L}$)	アンモニア 態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	クロロフィ ルa量 ($\mu\text{g/L}$)	
内湾	船橋	3.3 (3.1)	10.3 (11.0)	30.65 (30.77)	8.4 (8.5)	5.2 (6.7)	451 (490)	31 (15)	136 (61)	5.3
	st. 15	4.0 (3.4)	10.0 (10.9)	30.38 (31.03)	8.3 (8.5)	5.2 (5.9)	591 (431)	31 (6)	173 (41)	1.6
	st. 3	6.0 (3.9)	10.7 (10.7)	31.33 (31.10)	8.4 (8.5)	6.2 (5.3)	473 (460)	18 (5)	86 (45)	3.7
	st. 6	5.0 (4.3)	10.3 (10.7)	31.36 (31.10)	8.4 (8.5)	5.0 (4.3)	375 (435)	13 (6)	76 (49)	3.3
	st. 9	7.0 (4.9)	10.1 (10.9)	31.14 (31.84)	8.3 (8.4)	5.5 (5.6)	397 (367)	20 (6)	99 (32)	1.4
	盤洲Cブイ	5.0 (3.5)	10.6 (11.3)	30.30 (31.62)	8.3 (8.4)	4.9 (5.6)	489 (403)	30 (11)	151 (50)	1.9
	st. 8 (盤洲Aブイ)	5.0 (4.0)	10.6 (11.2)	31.47 (31.90)	8.3 (8.4)	5.2 (5.2)	410 (374)	24 (10)	115 (46)	1.7
	富津ベタ	6.0 (4.5)	11.3 (11.4)	31.33 (32.03)	8.3 (8.2)	5.3 (5.8)	318 (340)	18 (10)	91 (45)	1.7
内房海域	第2海ほ下	7.0 (6.4)	11.3 (11.7)	32.91 (32.98)	8.2 (8.2)		311 (249)	19 (11)	74 (26)	1.2
	st. 31	10.0 (8.1)	11.6 (12.4)	32.99 (33.11)	8.2 (8.3)		265 (248)	13 (10)	42 (21)	1.1
	st. 23	13.0 (17.4)	13.8 (14.7)	34.11 (34.30)	8.2 (8.2)		131 (115)	12 (13)	11 (15)	1.8
	st. 1	16.0 (17.0)	15.8 (14.7)	34.65 (34.42)	8.2 (8.2)		85 (98)	11 (13)	5 (12)	0.4
	st. 10 (下洲沖)	10.0 (6.9)	12.5 (12.4)	33.53 (33.46)	8.2 (8.2)		214 (202)	14 (10)	26 (19)	
	st. 12 (湊沖)	12.0 (7.1)	12.3 (12.8)	33.74 (33.63)	8.2 (8.2)		193 (179)	15 (10)	20 (16)	
	st. 22 (保田沖)	13.0 (13.1)	15.2 (14.8)	34.59 (34.32)	8.2 (8.2)		97 (113)	13 (11)	8 (12)	
	st. 24 (富山沖)	14.0 (15.2)	15.7 (14.8)	34.63 (34.36)	8.2 (8.2)		91 (103)	13 (12)	8 (11)	
	st. 26 (館山湾内)	19.0 (15.3)	15.8 (15.1)	34.64 (34.38)	8.2 (8.2)		90 (96)	13 (12)	5 (13)	

(): 過去10年間の平均値

※透明度、pHとクロロフィルa量の橙色は赤潮、DOの青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。